



榊原氏略系図

清政

初代(館林)
康政

忠政

2代(館林)
康勝

3代(館林、白河、姫路)
忠次

勝政

4代(姫路)
政房

政喬

勝直

6代(村上、姫路)
政邦

5代(村上)
政倫

勝治

7代(姫路)
政祐

8代(姫路)
政岑

9代(姫路、高田)
政永

10代(高田)
政敦

11代(高田)
政令

13代(高田)
政恒

政礼

12代(高田)
政養

14代(高田、東京)
政敬

15代(東京)
政和

16代(東京)
政春

政職

榊原氏の先祖は、清和源氏仁木氏。仁木義長六代の子孫、利長が伊勢一志郡榊原村に住み、榊原姓を称したのに始まる。利長の孫清長の時、三河に移り松平広忠(徳川家康の父)に仕えた。清長の子長政には清政と康政の二子があり、次男の康政が徳川家康の四天王の一人として勇名を博し、上野館林十万石を賜り榊原藩の祖となった。長男の清政は後に久能東照宮の祭祀を司り、これを世襲し明治の世におよぶ。

榊原家歴代高田藩主

歴代	藩主名	藩主となった日	備考
9代	政永	寛保元年(1741) 10月13日	姫路から転封
10代	政敦	寛政元年(1789) 5月20日	
11代	政令	文化7年(1810) 8月21日	
12代	政養	文政10年(1827) 11月21日	
13代	政恒	天保10年(1839) 3月21日	
14代	政敬	文久元年(1861) 10月16日 明治2年(1869) 6月17日	知藩事(のちの藩知事)

(出典『寛政重修諸家譜』『高田市史』)